

いなべ市
議会だより

第14号

平成19年8月1日

発行
三重県いなべ市議会
編集
議会広報特別委員会



員弁西保育園の園児たち

歌をうたったり、お遊戯をして過ごした園舎に もうすぐお別れ。
たくさんの思い出をありがとう。9月には、出来上がったばかりの
新しい園舎に移ります。

6月定例議会

目次●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

- 14人が一般質問……………P2～P9
- 常任委員会の活動報告……………P10～P13
- 議会運営委員会 視察研修・活動日誌…P14
- こんなことが決まりました……………P15
- トピックス……………P16～P17
- クイズ……………P18

一般質問

あなたの声を市政に

6月12・13日に14人の議員が一般質問を行いました。質問と答弁の内容を要約してお知らせします。



伊藤 和子

1. いなべのブランド化に向けて
2. 阿下喜温泉の現状は
～4月から管理運営を
指定管理者に移行～

【質問1】 市長は、平成19年度の施政方針で「いなべのブランド化」につき述べたが、現在、ブランドと言えるものは何か。また、それに対する支援策は。

【市長】 他市よりも優れていると感じているのは、「いなべの教育」、「元気クラブいなべ」、「こんにちは赤ちゃん訪問事業」、「自治体情報システム」である。いずれもレベルが高く「ブランド」として誇れるものだと思っている。

今後は、知名度を上げるため、市民や企業で使っただけのような「いなべ」のロゴマーク作成にも取り組んでいきたい。また、ブランド発信のため、市内に「まちの駅」をつくることも進めていく。

市民に対しては「いなべの人」が「いなべの良さ」を認識していただけるような「域内ブランド」をつくり上げていきたい。

【質問2】 4月から「阿下喜温泉」は指定管理者による管理運営となった。そこで、移行後の①利用者数②利用者の反応③トレーニングルームの利用状況④休憩棟の増設につき伺う。

【市長】 ①4月が11,483人（昨年度比6%減）、5月が11,437人（昨年度比6%増）。②4月から6月は指定管理者への引き継ぎの時期であるため、サービスが低下しないよう努力している。現在のところ大きなトラブルや苦情はない。③4月が1,237人（昨年度比7%増）、5月が1,482人（昨年度比10%増）。④休憩棟の増設については、今年度中に利用開始ができるよう、施工を進めていきたい。



元気クラブいなべの「元気づくり体験 にこやか集会所コース」
（北勢町の東部林業会館にて）

岡 英 昭



1. 丹生川保育園の移転建設を
2. 全国学力テストの結果の扱いは
～4月に小学6年生と中学3年生に実施～
3. 発達障害児への対応は
～特別支援教育のスタートを受けて～

【質問1】 丹生川保育園の移転建設には、地元住民からの強い要望がある。今後の計画につき伺う。

【市長】 公立保育園への建設や運営に対する国からの補助金が廃止されたため、保育園を単体で建てるのが不可能になった。園児数も少ないため、児童館が高齢者のデイサービス施設との複合施設として建設するより方法がないと考えている。そういった事情からも、しばらくの猶予を願いたい。

【質問2】 「全国学力テスト」の結果の取り扱いは。

【市長】 結果の分析は必要と考える。なお、守秘義務については徹底いただけている。

【教育長】 市民には、いなべ市全体の状況のみを公表するつもりでいる。今後は、結果を基に、児童・

生徒の学力向上のために生かしていきたい。

【質問3】 AD/HD(注意欠陥多動性障害)、LD(学習障害)、高機能自閉症の発達障害児への対応は。

【福祉部長】 就学前の児童に対する実施済みの施策は「発達相談」、「言語相談」、「あすなろ学園巡回相談」など。なお、福祉部では子育て支援・保育・保健が連携し、教育委員会との協働により、発達支援を行っている。

【教育長】 市の独自事業である「いなべ市めばえネットワーク(教育委員会、福祉部が連携。関係機関が協力)」において、乳幼児期から生涯にわたる、途切れない発達支援のあり方を検討している。



昭和49年に建設した丹生川保育園

小林 俊彦



1. いなべ市のブランド化
～具体的なPR策～
2. 国民健康保険料の算定
方式変更による影響は
～今年度から資産割を除く3方式に～

【質問1】 市長はブランド化につき、どのような考えを持っているのか。たとえば、藤原町の農業公園内で飼育している「地鶏」のブランド化はいかがか。

【市長】 ブランドについては、いろいろな形でPRしていきたい。たとえば、市職員は、市内の名所の写真を入れた名刺を使用し、対外的にPRを行っている。「地鶏」については、三重県からの委託により、農業公園内で試験的に飼育をしている。なお、三重県が特産としているため、今後は、県の動向を見ながら対応していきたい。

【質問2】 平成19年度より、国民健康保険料の算定が資産割を除く3方式になった。被保険者の負担への影響はあるのか。

【市長】 所得がなくとも、資産が多いため、多額の保険料を支払っていた方があった。しかし、平成19年度からは、保険料の2分の1を占める応能割が所得割のみ(資産割廃止による)になったため、より、支払い能力がある方が払っていただけるようになった。

【市民部長】 基準所得が200万円(年金収入370万円、給与収入358万円)の場合を例にし、前年度と対比すれば次のようになる。資産税10万円であった場合は、資産割分はなくなるが保険料としては同じに。資産税20万円であった場合は、前年度に比して5万円の減額になる。資産税がなかった場合は、5万円の増額となる。

また、基準所得がゼロ(年金収入160万円以下)で資産税もなかった場合は、保険料額に変動はない。

なお、これは当初予算編成時の試算である。



いなべ市

福祉部 健康推進課

保健師 員 弁 花 子

〒511-0292
三重県いなべ市大安町大井田2705番地
TEL(0594) 78-3617
FAX(0594) 78-1114

市職員用の名刺の見本



伊藤 弘美

夏場の渇水期における
水不足への対応を
～用水は生活に必要不可欠～

【質問】 地球温暖化の影響と思われる暖冬により、山には積雪が少なく、降雨量も少量であった。そのため、夏場には水不足が生じ、生活に大きな支障を来すことが懸念されている。また、気象庁は「切迫危機」と題し、夏場40℃を超え、50℃の熱波が襲う超異常気象となれば、日本列島はパニックに陥る可能性があるとしている。

県内においては、宮川ダムの貯水率が低下し、節水の強化策が取られた。また、利根川の上流ダムでも取水量の制限が取られ、徳島県や高知県においても飲料水が危機的な状況にあると報道されている。仮に「いなべ市」で飲料水や灌漑用水の不足により、住民や農家に大きな打撃が生じる事態となれば、行政による適切な支援が必要になると考える。そういった際の対処方法はいかなるものか。

【市長】 田植時における水不足に困り、三重用水の「バルブ」を開けられるなどし、苦勞された地区もあった。今後、どのような渇水になるか予断を許さないが、飲料水に関しては、平成7年並の渇水であれば心配ない。

また、農業の水に対するリスクは、農協とともに指導をしていくことが必要。今後は総合的な対策を取っていきたい。なお、今年の夏に関しては打つ手がなく、神頼みをするしか方法がない。

【副市長】 渇水規模によっては、災害対策として、給水の配備を国・県に要請することが必要となる。

【農林商工部次長】 農家への被害保障は「農業共済」などがある。また、「集落組織づくり推進支援事業」の中において、被害に関した協定書を結ぶなどの対応をしていただきたい。



川崎智比呂

障害者に対する施策を問う
・障害者活動支援センター
(仮称)の役割は
・障害者自立支援法施行に
対する負担軽減策は

【質問1】 ①「障害者活動支援センター」が大安町の中央公民館西側に今年度建設される。当センター建設に伴い、具体的にどのような障害者支援策を講じるのか。② 障害者の方々に大変負担が掛かっている「障害者自立支援法」に対する、いなべ市単独による負担軽減策はあるのか。

【市長】 ①「障害者活動支援センター」の役割には、自立支援と地域生活支援の2つがある。

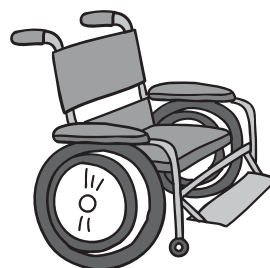
【福祉部長】 ①介護給付として、ホームヘルプサービス、重度訪問介護、ショートステイなどを予定。訓練等給付については、自立訓練、就労移行支援など。地域生活支援事業としては、移動支援、地域活動支援センターの設置。地域活動支援センターは在宅障害者（児）の中核施設として位置付けており、バンブーハウスに委託し、障害者（児）へのサービ

ス提供のための専用施設として機能充実を図っていききたい。

【市長】 ②厚生労働省は、「利用者負担の軽減」などの課題に対する見直しまでの措置として「障害者自立支援法円滑施行対策」を施行した。その結果、平成20年3月までの3カ年については、経過措置的な財源が一部確保された。しかし、まだ不足しているため、市単独事業による助成を行っている。

市単独事業としては、通所施設の重度障害者に対する加算助成事業として「あじさいの家」および「バンブーハウス」に対する助成を行なっている。

また、「障害者通所施設医療的ケア支援事業補助金」は県の補助事業であるが、1/2を市が負担をしている。今後、市としても全力を挙げ、現在のサービスが永続するように支援していきたい。





小川みどり

地域防災計画について
～震災対策～

【質問】 ①市職員に対し、災害時における周知徹底をどのように図っているのか。②「災害応急対策計画」では、震度4の地震が発生した場合、「市長が必要と認めたときには配備の体制を整える」となっている。4月15日の三重県中部を中心とした地震の際、「いなべ市」における体制はどうであったのか。③市職員の地震における参集規則はどのようなものか。④ヘリポートとして県が選んだ学校などのグラウンドについては、平素から学校長または管理者において現況の把握を十分行っているのか。⑤災害時における外国人への対策は。

【市長】 ①「災害時職員初動マニュアル」を作成している。また、「いなべ市災害発生配備体制」を作成し、「有事の際の連絡体制」および「災害対策班」の周知を行っている。

【総務部長】 ②「災害対策準備室」に係わる職員が登庁し、被害の把握に努めた。幸いにして被害はなかったため、「災害対策準備室」の設置までには至らなかった。③震度5強以上で災害が発生した場合、「全職員は連絡を待たずして自らの所定場所に参集すること」となっている。特別な訓練はしていないが、今後、地震に対する認識度を深めるようにしていきたい。④ヘリポートとなる場所は、市内に18カ所ある。毎年現況調査を行い、県へ報告している。⑤必要者には「ハザードマップ」を配布した。今後は、外国人労働者の多い企業などと連携のうえ、防災意識の向上を図っていきたい。



位田まさ子

1. 員弁町のコミュニティバス
～住民の要望に応えるよう～
2. 悪臭対策
～市としての方策と指導は～

【質問1】 乗車増員に向けての対策として①停留場の見直し②ルートの変更③土、日の運行の3点が考えられる。中でも「阿下喜の病院へ行きたい」という多くの方の要望に応えるべく、ルートの見直しが最重要課題だと思うが。

【市長】 阿下喜の病院行きについては、昨年10月の道路運送法の改正により、三重交通と地域公共交通会議での合意を得れば可能となった。三重交通の了解は得たため、今後は、地域交通会議において路線変更の審議を願い、乗り入れに向け進めていきたい。

【企画部長】 阿下喜へのルートは、地域交通会議を経て、早ければ今年の秋口には実現するよう努力していきたい。

【質問2】 員弁町平古の堆肥工場の悪臭に対し、市としてのさらなる指導を願いたい。また、市は事業者に対し、堆肥の野ざらしや沈殿槽の排水管理などについての指導や勧告はできないのか。

【市長】 法律で謳われていないため、市としての行政指導などはできない。地元住民と業者により、「三重県公害紛争調停」に調停申請が出され、現在も継続中であるため、それを見守りつつ、できるだけ事業者の理解を得ていきたい。

【市民部長】 堆肥工場が設立された昭和61年には、事業者としての環境保全に関する届出義務がなかった。そのため、「いなべ市環境保全条例」で謳われている指導や勧告および命令を行うことはできない。今後、悪臭が軽減されるよう事業者をお願いするとともに、監視も行っていく。



員弁町内を走るコミュニティバス
(大泉駅前)



清水保次

リサイクルの啓発と
古新聞・古雑誌の
自治会での回収

【質問1】 ごみの収集日、梅戸自治会では早朝より、集積所において2人1組の当番制による監視を行っている。しかし、リサイクルについては基準が分かりにくく、特にプラスチックごみの中には、リサイクル可能でないものも多く含まれており、まだまだ、市民に徹底していない状況にある。そのため、再度、広報誌などにより啓発を行うべきである。

また、自治会未加入者に対しても、ごみの出し方の周知徹底を強化すべきと考えるがいかがか。

【市長】 特にプラスチックごみのリサイクルについては、より一層、周知徹底をしていきたい。

自治会未加入者には、市の広報誌が届きにくい。そのため、アパートに住んでみえる方への対策として、本年度中に管理者のみならず、勤務先の事業者をも巻き込んだ啓発の推進を行っていききたい。

また、阿下喜地区からは、外国人向けの看板やパンフレットの要望があったため作成をした。

【質問2】 古新聞、古雑誌、ダンボール、厚紙のリサイクルは、粗大ごみ処理場（大安町、北勢町、藤原町）やリサイクルセンター（員弁町）への搬入となっている。しかし、自宅から遠いため、搬入ができない高齢者などがみえる。そのため、各自治会の集積場を利用した地区での収集を検討できないか。

【市長】 自治会単位に「雨の日にもでも集積できる施設」を市が建設し、自治会に管理をいただき、収集については古紙回収業者をお願いするといった方策を考えている。については、現在、古紙回収業者との間で話を進めているところである。



水貝一 道

1.いなべ市の少子化対策
2.中学校の卒業式を
高校入試後に
～昨年度、鈴鹿市で実施～

【質問1】 出生率の低下に歯止めを掛け、安心して子供を生み育てる社会を構築しなければならない。

①国・県と連携した子育て支援対策は。②市独自の支援事業は。③「こんにちは赤ちゃん訪問事業」に対する市としての取り組みの状況は。④少子化対策の一つとして、市が小学校入学前までの子どもの医療費を無料化するという支援はできないのか。

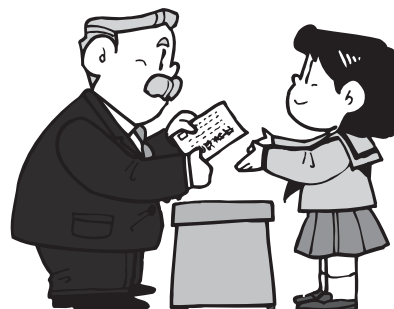
【福祉部長】 ①国の指針を踏まえながら「いなべ市次世代育成支援行動計画」に基づいた取り組みをしている。②特筆すべき事業は「こんにちは赤ちゃん訪問事業」、「不妊治療費助成事業」、「母親のメンタルヘルス事業」、「ブックスタート」など。③国の事業実施に先がけて行っており、全国的にもモデルとなっている。子育ての情報提供やアドバイスを行うとともに、乳児のいる家庭での孤立化や児童虐待

の防止などにもつながっていききたい。

【市長】 ④少子化の原因は、家庭における経済的要因のみではない。補助を行うだけでは解決できない問題であると考えている。については、財政に影響の出ない範囲で行えるよう頑張っていきたい。

【質問2】 市内の各中学校の卒業式を公立高校入試日の後にしてはどうか。

【教育長】 卒業式の日決定は、法的には校長が定め、教育委員会に届けることになっている。今後はさまざまな状況を踏まえ、生徒の立場も考慮しつつ、各中学校の校長と協議していきたい。





城野正昭

地籍調査の進捗状況は
～住宅団地造成中の
笠田新田地区など～

【質問1】 ①現在、市内何カ所で地籍調査を行っているのか。②全体の進捗状況は。③平成15年から笠田新田地区で地籍調査が行われ、現在、住宅団地の造成が進められている。しかし、登記などの事務手続きが遅れているようであるがいかがか。④今後の地籍調査のスケジュールは。

【市長】 ①北勢町の鼓地区と阿下喜地区、員弁町の笠田新田地区および藤原町の古田地区の4カ所で実施中。
②市内全体の要調査面積188km²のうち、調査実施面積は3.56km²。そのうち、調査完了面積は0.46km²。進捗率は約0.25%。
③当該地(笠田新田地内)は、0.11km²(11ha)が調査面積となっている。平成15年度に着手し、平成19年7月に登記完了の予定である。

【農林商工部次長】 ④現在の調査能力は年間1km²(100ha)が限度である。進めるにあたっては、補助金との兼ね合いもある。なお、要望の強いところから調査をしているのが現状。

今後も新しい地区は、年間0.2～0.3km²(20～30ha)を目標に調査を行っていきたい。



笠田新田地内の住宅団地造成地



種村正巳

1. 地産地消の推進と
農地・水・環境保全向上対策
2. 「まちづくり交付金」につき問う
～交付金制度の中身は～

【質問1】 食料自給率向上の意義を強調した2006年度の「食料、農業、農村白書」を基にした、地産地消の推進に対する市の取り組みにつき問う。

【市長】 地産地消については、市内9カ所の農産物直売所を中心に、産地直結の販売を行っていた。会員は延べ460名。いなべ産の安全で安心な農産物の提供に努めていただいている。市としてもバックアップし、育成に努めていきたい。また、学校給食にも地元農産物を使うよう提唱している。実績は、藤原中で地元産米。大安学校給食センターでは卵・牛肉・鶏肉・野菜。北勢町と員弁町の各小中学校ではコンニャク・豆腐など。

【農林商工部次長】 農地・水・環境保全向上対策の許可集落は44集落。交付対象農用地は、田が1,168ha。畑24.8ha。交付金額は10a当たり田が4,400円

で、畑が1,400円。負担は、国が2分の1で県と市がそれぞれ4分の1ずつ。なお、加入団体は、営農組合を中心に自治会、老人会、自警団、子ども会、婦人会など。それぞれの地域に合った活動をお願いしたい。

【質問2】 まちづくり交付金の制度は。また、どのような事業を行ったのか。

【市長】 まちづくり交付金は、市が国に対し、まちづくりのための提案、申請をし、交付を受けて行う事業。26のメニューがある。

なお、藤原大橋の架け替えや藤原中学校の旧体育館の撤去、武道館の新築などは、まちづくり交付金によるものである。基本的な補助率は40%。



小学生を対象にした農地・水・環境保全向上対策についての現地説明会(北金井地区にて)



奥岡 征士

1. 副市長を国土交通省から招請した理由は
2. 市のホームページの活用を

【質問1】 自主自立という流れの中、国土交通省から副市長を招いた理由は何か。また、副市長に「いなべ市」の印象と職責、処遇につき尋ねる。

【市長】 市になって道路や河川整備などにおいて、隣の市町を含めた広域での取りまとめ役を担うようにもなった。そのため、トータルマネジメントができる方に来ていただきたいという発想から国土交通省にお願いをし、来てもらった。

【副市長】 「いなべ市」の印象は、自治会の方々が誇りを持って地域を守られていることである。また、車の運転を初めとして市民の生活マナーも良い。今後は、名古屋圏に近いという利点と住民の意識の高さをバランスよく伸ばしていくことが大切。

なお、職責を全うし、十分処遇していただいている分は市民にお返しできるよう努力していきたい。

【質問2】 ホームページの1年間のアクセス件数、市民の活用率と利用者の反応につき伺う。また、市民を対象にしたIT教室の再開を願いたい。

【市長】 アクセス件数は、市外も含め、平成18年度においては約25万5千件であった。また、市民からはホームページを通じ、「ゴミのリサイクルの詳細を分かりやすく載せてほしい」などといった意見が寄せられた。

【企画部長】 いなべ市のホームページなどを使っていたら教育委員会でIT講習などを実施している。



衣笠 民子

1. 子どものインフルエンザの予防接種に助成を
2. 小中学校の普通教室にエアコンを

【質問1】 厚生労働省の予防接種に関する検討会での報告によると「インフルエンザの予防接種は、一定の効果が得られるが、限界のあることを示した上で、メリットを感じる方にはお勧めする。すべての乳幼児に対して勧める定期接種型ではなく、任意接種の形で勧めればよい。」ということであった。また、「任意接種は公的な費用負担がないため、しない方がよいという誤解がある。重要性・有用性の高いものは何らかの費用負担を行い、摂取率を高める施策を考えてもよいのではないか。」ともある。玉城町では1歳から中学3年生に対して、1回につき500円の補助をしている。「いなべ市」においても補助を求めるがいかがか。

【市長】 厚生労働省による、インフルエンザ予防接種の効果の確認を待って検討を考えたい。

【質問2】 ①文部科学省は「学校環境衛生の基準」を定めている。基準は「冬期は10℃以上、夏期は30℃以下が望ましく、最も望ましい温度は、冬期が18℃～20℃。夏期が25℃～28℃」。また、「相対湿度は30～80%が望ましい」ということである。市内の小中学校の実態はどうか。②直近に建設された藤原中学校、石榑小学校には、エアコンが設置された。しかし、建設予定の員弁西小学校には、なぜ設置しようとならないのか。

【教育長】 ①調査はしていないが、各学校での状況の把握に努めていきたい。②学習環境を整えられるよう、様子を見ながら、エアコンの設置も含めて検討していきたい。





石原 瞭

1. 住民税の負担増に対する軽減策
2. 投票所の削減後の評価は～民主主義の立場からも再考を～

【質問1】 ①税源移譲と定率減税廃止による住民税値上げに伴い、「いなべ市」の市民税は昨年と比べ、いくら増収になる見込みか。②介護保険の要介護者が、税の障害者控除を受けるための、市としての要領はできているのか。控除を受けることができる対象者数と実際に認定書を発行した件数についても伺う。については、全対象者に市から個別に通知すべきである。

【市長】 ①昨年に比べ、約6億3,000万円の増となる。②認定の基準を設けて運用している。対象者は約1,400人。確定申告時には52件の交付。今後は、広報誌への掲載や介護認定結果の通知時に資料を添付するなどの検討をしていきたい。

【質問2】 4月の知事選挙および県議会議員選挙においては、員弁町・北勢町の投票所を減らすとともに期日前投票所も1カ所にして行われた。市は、結果を踏まえ、どう評価しているのか。については、お年寄りなどの参政権を大幅に制限するといった点で問題がある。いなべ市全体で、再度見直すべきと考えるがいかがか。

【総務部長】 選挙管理委員会は、均衡と公正性を図るという面で、目的は達成されたという判断をしていると伺っている。なお、今後、不都合があるといった多くの意見が出れば、選挙管理委員会に報告し、状況を見ながら検討いただくよう依頼をしたい。投票所削減に伴う有権者の動向などの分析は、まだ出ていない。判明すれば、後日報告する。



一般質問とは

一般質問は議員が市政におけるいろんな問題につき、市長をはじめとする行政の執行機関に質問をすることです。いなべ市議会では、年4回の定例議会で行っています。

議員は行政をチェックすることが大きな任務。一般質問を行うことにより、市長の考え方や市政がどのように運営しているかを確認することができます。

6月定例議会では、14人の議員が質問を行いました。質問する議員は、取り上げる内容につき、事前に調査を行うなどし、十分な準備を行ってから当日の質問に臨みます。

議員は一般質問を行うことにより、地域ではどのような問題があるのか、市民はどのようなことを望んでいるのか、市はどのように対応しているのかなど、いろんな問題につき、さらに真剣に取り組むことができます。



委員会の活動報告

総務常任委員会

付託案件の審査 6月15日（3議案）

○いなべ市部設置条例の一部を改正する条例（全員賛成）

○財産の処分について（全員賛成）

○平成19年度いなべ市一般会計補正予算（第1号）のうち、総務常任委員会の所管（全員賛成）

委員会での質疑

地域交通対策費

Q 193万2千円は、北勢線に対する対策費ということだが。

A 北勢線対策推進協議会が実施する三岐鉄道北勢線需要予測業務委託に対する、いなべ市、桑名市、東員町の負担割合に基づく負担金。193万2千円は、いなべ市の負担分。

市役所の組織変更

Q まちづくり部が設置となれば、市民への周知はどのように。

A ホームページや庁舎前に張り紙をするなどで周知する。

視察研修

研修で学んだ良い点は、市政に生かすよう提言します

テーマ 地域の基盤づくり

6月27日～28日

「和歌山電鉄 貴志川線」を視察（和歌山市）



～特色ある鉄道運営～

貴志川線はJR和歌山駅と貴志駅（紀の川市）を結ぶ、延長14.7kmの鉄道。駅数は14です。元は「南海電鉄（本社大阪市）」の一路線でしたが、平成16年の撤退により、継承事業者を募集。平成17年に「岡山電気軌道」が継承事業者に決定。同年、「和歌山電鉄（株）」が子会社として設立し、現在に至っています。

「和歌山電鉄（株）」の社員は約30人。小さな会社ですが、地元住民と一体となつてのイベントなどを行うなど、社員の熱意から生まれた多くのアイデアを取り入れ、運営を行っています。その中でも、特に有名なのは「いちご電車」。外装に「いちご」が描かれ、車内には「いちごの絵」などがあしらわれた電車は人気を博し、集客の一翼を担っています。また、今夏からは、「おもちゃ電車」の運行も始まりました。

いなべ市では、「北勢線の存続」という重要な課題を抱えています。今回、視察で得たことは、今後の活動において、少しでも生かせることができるよう努力します。

「市民との協働のまちづくり」につき学ぶ（兵庫県宝塚市） ～自治会とまちづくり協議会～

宝塚市は人口22万人のまち。「自分たちのまちは、自分たちで良くして行こう」という、市民共通のスローガンのもと、市政の運営が行われています。

地域においては、各学校区単位で活動している個人・グループやサークルが自治会と連携。コミュニティ活動の組織化が市全域で行われました。それぞれの地域で「まちづくり協議会」をつくり、特色ある活発な活動が展開されています。この「まちづくり協議会」では、地域における「まちづくり計画」が作成されます。完成すれば市に提出。市はそれを基に、「協働のまちづくり計画」として、市民の意見をより多く反映させた計画書をつくります。

市民参加型のまちづくりを推進している宝塚市。現在は、核家族化やマンション・アパートの建設が急速に進んでいるため、自治会に加入されない住民が増えています。そのため、自治会連合会が中心となり、自治会への加入促進にも取り組んでいます。

「いなべ市」においては、今年度、地域力の再生をテーマの一つに掲げ、新たな事業にも取り掛かっています。そのため、宝塚市を訪れ、「地域の自立した活動」を学んだことは大変有意義であり、参加した各委員は、今後の議員活動において生かしていきたいと考えています。

教育民生常任委員会

付託案件の審査 6月15日（3議案）

- いなべ市体育施設条例の一部を改正する条例 (全員賛成)
- いなべ市立保育所条例の一部を改正する条例 (全員賛成)
- 平成19年度いなべ市一般会計補正予算(第1号)のうち、教育民生常任委員会の所管 (全員賛成)

委員会での質疑

北勢フットサルコート

Q 照明を設けたことで、夜間の使用料を設定するということだが。

A 夜間の使用料は、1面につき、市内の方は1,000円。市外の方は2,000円。なお、照明設備に掛かった費用は約600万円で、平成18年度の事業で行った。

Q コートの場所と競技人口は。

A 北勢運動場（其原808番地）に併設。チーム数は、常時コートを使用されないチームを含めれば、10チームほどである。



フットサルコート

視覚障害者に対する「読み上げ器」

Q 「読み上げ器」は、どの施設に配備するのか。

A 障害者自立対策を目的とした県からの補助金の中で購入するものである。購入に対する予算額は100万円。図書館へ配備し、読み上げ可能な特定の図書を「読み上げ器」により聴いていただけるよう、視覚障害者の方への利用と普及を目指していきたい。なお、1台当り数十万円のため、配置する施設については、今後、検討していきたい。

新しい員弁西保育園

Q 員弁中保育園も新しい員弁西保育園に統合されれば、通園距離が遠くなり、困る家庭が出るのでは。

A 員弁中保育園は駐車場が狭い。また、アクセス道路も狭く、見通しの悪い危険な箇所も多い。そのため、交通安全面を懸念する保護者からの声があった。しかし、新しい員弁西保育園は駐車場も広く、交通安全面も含め、保護者からは概ね好評である。市としては、安全面に関しても「新しい施設の方が合致している」という判断をしている。

Q 保育園へのコミュニティバスの運行は。

A 現在は、実証実験運転中となっているため、要望があれば検討課題になると考えている。



9月の開園をめざし工事が行われています。(6月撮影)



教育民生常任委員も現場を視察（業者の説明を聞く委員）

視察研修

研修で学んだ良い点は、市政に生かすよう提言します

テーマ 地方力の再生

5月16日～17日

「^な賀学校給食センター」を視察（和歌山県紀の川市）

～学校給食に地元産の食材を使用～

地元の農産物を学校給食に取り入れている紀の川市旧那賀町の学校給食センターを訪問しました。旧那賀町では、有機栽培による安心・安全な野菜や果物を子どもたちに食べさせたいという思いから、5年前に地元産物の学校給食への納入が始まったそうです。当初は3品目。しかし、今では、70品目を取り扱うまでになりました。

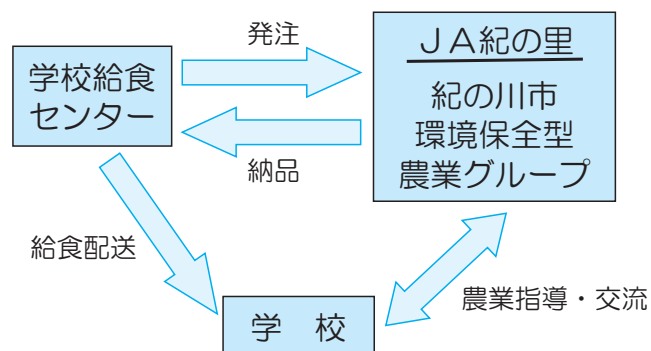
生産者で、市の農環境保全型農業グループの会長でもある畑さんに有機農業にこだわる理由を尋ねたところ「お金もつけではなく、安心・安全で、新鮮な野菜を提供することの大切さが分かる時代が必ずくるという信念を持って栽培している」という熱き思いを語られました。

また、各学校では、総合学習の時間などを活用し、食育教育にも取り組んでおり、学校農園などの現場においては、市の農環境保全型農業グループ会長の畑さんらが農作物の成長過程を教えています。そこでは、農作物が厳しい状況にもへこたれず成長していく姿を見ることができます。農作物を通して、子どもたちは生きる力の素晴らしさを学びます。

食材活用組織図

葉物などは、あらかじめ冷凍加工し、学校給食に使います。加工施設は、JAの施設を借用。

生産者は、専業農家から1品のみを納入する農家まで千差万別。



説明を受ける委員
（那賀学校給食センター会議室）

「大津市社会福祉協議会」で研修（滋賀県大津市）

～地域見守りネットワーク～

いなべ市は、高齢者を取り巻くさまざまな問題に対応するため、「高齢者見守りネットワーク」の構築に取り組んでいます。そのため、地域見守りネットワークの先進地である大津市を訪れ、研修を受けました。

大津市には、市の社会福祉協議会と一体になって、地域に根ざした福祉のまちづくりに取り組むため、各学区に「学区社協」があります。「学区社協」は、自治会や民生委員など、さまざまな分野からの代表で構成されています。主な活動は次のとおりです。

- 子どもを守る運動・子育て支援
- ふれあい・いきいきサロン
- 見守り・声かけネットワーク活動
- 地域ケア会議
- 福祉のまちづくり講座 など

その中でも、高齢者など地域の要支援者の問題を解決していくための「地域ケア会議」が重要な役割を果たしています。構成員は、地域住民・専門職・行政職のほか、医師・警察・消防など。会議では、ケースごとに、①本人はどうしてほしいと思っているのか。②本人が抱えている問題は何か。③解決のためにはどうすればいいのかということが話し合われます。

研修で説明をされた、学区社協会長の小倉氏は、「要支援者に心の扉を開いてもらうためには、何度も声かけを繰り返すことが重要である」と熱意を込めて話されました。

産業建設常任委員会

付託案件の審査 6月15日（2議案と請願1件）

○いなべ市道路線の認定について（全員賛成）

○平成19年度いなべ市一般会計補正予算（第1号）のうち、産業建設常任委員会の所管（全員賛成）

☆日豪EPA（経済連携協定）／FTA（自由貿易協定）交渉に対する請願（賛成多数）

いなべ市議会は、上記請願が6月21日の本会議で可決となったことに伴い、関係行政庁へ意見書を提出しました。

委員会での質疑

市道認定

Q 市道認定をするにあたり、基準はあるのか。

A 市としての統一した基準はない。道路台帳の整備と認定基準の整理を行い、認定見直しなどの検討を進めていく予定。

視察研修

研修で学んだ良い点は、市政に生かすよう提言します

テーマ 地域振興対策

6月25日～26日

「地域の過疎化対策」を視察（静岡県磐田市敷地地区）

～企業と地域の協働活動～

磐田市の敷地地区は、市の最北端の山間にあります。過疎化が進み、将来的にも集落の存続が危惧される地域です。

そのため、住民がなんとか地域を盛り上げようと、行政の支援を受けつつ、グリーン・ツーリズム（都市農村交流）の推進計画がつくれ、まずは、企業と地域との交流などを目的とした体験交流施設（農村レストラン「万瀬路」）が建設されました。

なお、今後は、森林資源を生かした「健康・癒し」をテーマに、グリーン・ツーリズムの推進が図られます。



磐田市敷地地区で地元の方により、運営が行われている農産物加工体験施設「万瀬路」。
企業が地場の資源を活用した「そば打ち体験」や「郷土料理教室」などを行うため、利用することもできます。

「ミスト農法システム」を学ぶ（静岡県磐田市）

～農業を使わない農法～



ミスト農法による「大葉」の栽培。ハウス内に高段棚を設置しての栽培で有機肥料を使っています。

議会運営委員会 視察研修 (7月10日、11日)

兵庫県小野市議会、高砂市議会

議会運営委員会は、よりよい議会運営ができるよう「会派制度」および「議員定数」の調査につき、議長からの諮問を受けています。そのため、議会運営の先進地である両市を訪れ、研修を行いました。

今後は、今回の研修で得たことを参考にし、本格的な検討に入ります。



映写機により、説明を受ける委員（小野市）



議場内も視察しました。（高砂市）

議会活動日誌

月 日	内 容	場 所	月 日	内 容	場 所
5月16日(水) 17日(木)	教育民生常任委員会 視察研修	和歌山県紀の川市 滋賀県大津市	6月21日(木)	6月定例議会 本会議《閉会日》 (総務・教育民生・産業建設の各常任委員会委員長の 審議結果報告、議案に対する質疑・討論・採決)	大安庁舎
24日(木)	桑名・員弁広域連合議会 臨時会	桑名市	25日(月) 26日(火)	産業建設常任委員会 視察研修	静岡県磐田市
31日(木)	三重県市議会議長会 定期総会	"	27日(水) 28日(木)	総務常任委員会 視察研修	和歌山市 兵庫県宝塚市
6月1日(金)	議会運営委員会	大安庁舎	7月4日(水)	南あわじ市議会 広報広聴特別委員会が視察来庁	大安庁舎
"	全員協議会	"	"	桑名広域清掃事業組合 臨時議会	桑名市
8日(金)	6月定例議会 本会議《開会日》	"	6日(金)	北勢5市議会懇話会	鈴鹿市
"	広報特別委員会（編集計画ほか）	"	10日(火)	広報特別委員会（編集と原稿の校正）	大安庁舎
12日(火)	6月定例議会 本会議（一般質問）	"	10日(火) 11日(水)	議会運営委員会 視察研修	兵庫県小野市 兵庫県高砂市
13日(水)	" (")	"	23日(月)	広報特別委員会（原稿の最終校正）	大安庁舎
15日(金)	6月定例議会 本会議（総括質疑ほか） 常任委員会（総務・教育民生・産業建設）		25日(水)	国道306号整備促進同盟会 総会	菰野町
19日(火)	全国市議会議長会 定期総会	東京都 千代田区	31日(火)	桑名・員弁広域連合議会 定例会	桑名市

6 月定例議会

こんなことが決まりました

「人権尊重のまち宣言」を決議

～ 議員提案 全会一致で可決 ～

提案の理由

今年度、いなべ市は「地域力の再生」をテーマの一つに掲げ、取り組んでいます。そのためには、いなべ市民一人ひとりの人権が守られる、明るく住みよい地域社会の実現が不可欠です。

本定例議会で、人権尊重のまちの宣言を決議し、今後、「人権のまち」として内外ともに認められ、「誇りある いなべ市」となるため、市民にも人権意識をより高めていただけるよう、本決議案を提出します。

議会は、市民の代表として、市民の要望や意見を市政に反映させることが任務です。議員の提案により決議した宣言。未来に向け、理想を重きに掲げた素晴らしい宣言文となっています。

人 権 尊 重 の ま ち 宣 言

豊かな自然の中で、誰もが生き生きと暮らせるまち、いなべ市。一人ひとりが大切にされ、地域ぐるみで見守り助け合う、人情あふれるまち、いなべ市。いなべ市には、先人から受け継いできた、人権を大切にしていこうとする気風が根付いています。

この いなべ市に根付く気風を、私たちは次世代にも引き継いでいきます。

市民と行政が力を合わせ、いなべ市に暮らす一人ひとりの人権を保障し、お互いを認め合い、尊重し合える豊かな人間関係を築いていく営みをさらに発展させていきます。

そして、その営みを通じて、一人ひとりの願いが大切にされ、誰もが心豊かに暮らせる民主的な地域社会を築いていきます。

この決意を内外に表明し、明日に輝く人権都市・いなべ市の構築をめざす「人権尊重のまち」とすることを宣言します。

平成19年 6 月21日



いなべ市議会

☆一般会計の補正予算を可決

歳入・歳出それぞれ 1 億941万 5 千円を追加し、186億5,941万 5 千円となりました。

☆人権擁護委員の推薦に同意

前任者が任期満了になるため、多湖和幸氏（員弁町石仏）の推薦に同意しました。

☆まちづくり部が設置されました

事務は、①公共交通②企業誘致③自然環境④都市計画などに関すること。事務所は員弁庁舎内。

☆障害者活動支援センター(仮称)新築工事の請負契約の締結を可決。

・契約金額—2億779万5千円（税込） ・契約の相手—㈱大橋組 いなべ営業所

トピックス

議会にかかわる 「まちの話題」などを紹介します

6月1日から 北勢町でコミュニティバスの運行始まる
～阿下喜駅を基点に4路線（十社線・貝野線・山郷線・治田線）～



料金は一律100円。バス車両は市が購入し、三重交通に運行を委託。



「阿下喜温泉あじさいの里」前で行われた運行式

阿下喜温泉の管理運営を 指定管理者に委託



4月から民間の「大新東株」が管理運営を代行。
入場者は、1日平均400人台。好調を持続しています。

消防夏期訓練 市内4会場で



7月8日、各地区団ごとに行われた夏期訓練。
写真は大安地区団西分団の団員による操法です。(大安中学校にて)

兵庫県南あわじ市の議員が議会広報誌編集の視察に



視察のため、大安庁舎を訪れたのは、広報広聴特別委員と議長。
説明のあと、意見交換なども行いました。



挨拶をする衣笠委員長

貝野橋が完成 ～6月23日に竣工式～
北勢町の東貝野地区と西貝野地区を結ぶ橋。新たに架け替え



当日は、地元の3代夫婦による渡り初めが行われました。



地元の子どもの代表がお祝いの作文を披露

ALT (外国人英語指導助手) による
英語指導



今年度より英語教育ができる専門的な教員を民間の専門機関を通じ、招致。市内各小中学校で指導を行っています。
(立田小学校での英語教室。カードを使い、簡単な英会話を練習)

「いなべ祭り」本番を前に
盆踊りの講習会



(員弁コミュニティプラザにて)

8月11日(土)、員弁庁舎駐車場を会場に行われる「いなべ祭り」。盆踊りのほか地元自治会による山車曳きや花火の打ち上げがあります。

議員の永年表彰 太田政俊議員、石原瞭議員
～永きにわたり議会活動に貢献～



全国市議会議長会および東海市議会議長会から表彰された両議員。
議場において、小川議長から表彰状が伝達されました。(写真左が太田政俊議員、右が石原瞭議員)

クイズ

答えはすべて「紙面の中」にあります。
ぜひ、ご応募ください。

問1

新しい員弁西保育園が開園するのは、今年の「何月」でしょうか。

問2

6月定例議会では、14人の議員が「○○質問」を行いました。
○○に入る言葉は何でしょうか。

問3

6月定例議会で、いなべ市議会が決議した宣言は、「○○○○のまち宣言」でした。
○○○○に入る言葉は何でしょうか。

「ハガキ」にご記入いただいた個人情報については、目的以外に一切使用いたしません。

応募方法

官製はがきに「答」・「住所」・「氏名」・「年齢」を記入してお送りください。

正解者の中から抽選で15名の方に「図書カード」をプレゼントします。発表は次号。

☆あて先 〒511-0292

いなべ市大安町大井田2705番地
大安庁舎内 いなべ市議会 議会事務局

☆締切日 平成19年8月31日(金)《当日消印有効》

※応募いただく「はがき」にスペース(空白)ができましたら、「議会だより」や「議会」に対するご意見や感想もぜひお書きいただき送付ください。

委員会の視察研修

総務常任委員会では「和歌山電鉄」と「兵庫県宝塚市」を訪れ、研修を行いました。



和歌山電鉄貴志川線を走る「いちご電車(愛称)」



宝塚市役所では「地域との協働によるまちづくり」を学ぶ。

※委員会の視察研修につき詳しくは、10P～14Pをご覧ください。

編集後記

市議会では、6月定例議会を前後して、各常任委員会などが視察研修を行いました。「議会だより第14号」では、6月定例議会の報告と併せて視察研修で学んだ一端を掲載しました。

研修で学んだことは、今後の議員活動や議会での質問に生かしていきます。

自治体の財政が関心を呼び、「議会のあり方」や「議員のあり方」にも真価が問われている中、広報特別委員会は、議会を住民の皆さんに身近に感じていただけるよう、今後も「より分かりやすい紙面づくり」のため、研鑽に励んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

さて、クイズも3回目を迎えました。「議会だより」を開きながらご家族でお考えください。応募の折には、ぜひ、ご意見、ご感想もお書き添えください。次号ではできるだけ紹介させていただきます。

委員一同、楽しみにしております。

9月定例議会(予定)

- ◆開会日………9月 6日(木)
- 一般質問………9月11日(火)
- 9月12日(水)
- 総括質疑………9月14日(金)
- 常任委員会………9月18日(火)
- 9月19日(水)
- ◆閉会日………9月27日(木)

皆さんからのご意見、
ご感想をお待ちしております。

連絡先

〒511-0292
三重県いなべ市大安町大井田2705番地
いなべ市議会 議会事務局
TEL (0594) 78-3515 / FAX (0594) 78-3516
<http://www.city.inabe.mie.jp/~gikai/>